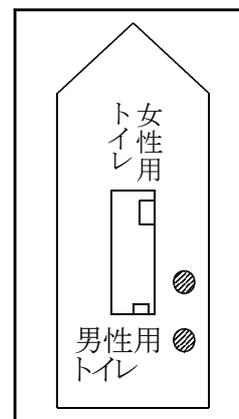


2021年7月19日(月) マイカ 美浜釣舟センター 宝生丸 美浜町早瀬  
長潮:旧6月10日 干潮 17:09(23cm) 満潮 翌日00:11(33cm) 敦賀  
自分 マイカ 7杯 ツレ:マイカ 6杯

17時09時 干潮(23cm:敦賀)  
17時30分 釣り座のくじ  
18時00分 出船  
0時00分 納竿  
0時11分 満潮(33cm:敦賀)



翌日、イカそうめんとイカ焼きで食べました。  
美味しかったです。



【マイカ仕掛け】 自作仕掛け おもり 60~100号持参 使用80号  
胴付き仕掛け  
スツテ2.5号 幹糸フロロ6号 枝間1.2m ハリス5cm フロロ3号  
自分:4本鈎 ツレ:5本鈎

イカメタル

竿 YOIKA BB 64M210 リール バルケッタBB 200HG PEライン0.5号 200m  
竿 ソルパラ 鉛スツテ20号 リール バルケッタBB 300HGDH PEライン0.5号 200m  
リーダーはいずれもフロロ3号を1ヒロ

※マイカは足が弱く、マイカが強引くと、マイカ自身が引く力で足が切れてしまう。すべてのリールのドラッグをゆるゆるにしておくことにした。

【料金】 船代 ¥12,500 (氷・おみやげ付き)

【様子】

- 4番くじだった。左舷、後から2・3番目に入った。
- 風が少しある。初め、少しうねっていたが、収まっていった。今日は月がある。
- 「胴付きの人はおもり80号。イカメタルの人は20号。」水深は70mくらいだった。
- かかり釣りだった。後の釣り座が有利だと思う。
- 今日は、二人とも胴付き仕掛けとイカメタルをすることにした。日が沈むまでは底を狙うことになるので胴付きでやった。明かりが灯ったところに、胴付きは低速自動巻きで誘いつつ、イカメタルを始めることにした。
- 周りで釣れ出した。「水深30m、20mで釣れた」とアナウンスがあった。
- イカメタルで水深20mまで落として、誘いを掛けて待った。グッと重みを感じた。1杯目が釣れた。
- しかし、釣れない。周りの人が釣れ始めているのに、自分たちにはさっぱりあたってこない。
- 胴付きでは、周りの人も低速自動巻きで釣っており、時々、竿を大きくあおって誘っている。
- 自分は1杯で、ツレはボウズで終わってしまうのだろうかと感じるほどだ。
- 右舷大艦(右隣)の人は、胴付きの二本竿。片方は水深15mの固定である。これにも掛かってくる。

- あまりにもつれない私に、右隣の人がドロッパーにエギ2.5号を貸してくださった。しばらく試したが釣れなかったのでお返ししたら、エギ2.5号オレンジを貸してくださった。これに1杯掛かった。
- 結局、自分は7杯、ツレは6杯という釣果だった。
- 竿頭は右舷大艦で35杯、20杯以上釣っていた人が4名もいた。
- 何が違うのであろうか。
- 後で船長に尋ねたところ、「棚を固定して釣るのでは釣れない、水深50mから低速自動巻きがよい。底(水深70m)からするとエソが掛かってくるから底からは巻き上げない。」とのことだった。以前、船長は棚を固定して釣っていた。“最近の状況”から、釣り方を変えなければならないということだ。
- 船長の話からしても、胴付きは低速自動巻きで、イカメタルは水深の浅いところを棚を固定するのではなく、いろいろ探るといって今回の釣り方は間違いではなかったはず。しかし、自分たちの貧果はなぜだろうか。

### 【釣り方】

- 胴付きは、最低速度で巻き上げながら、ときどき大きく竿を2～3回振り上げた。
- イカメタルは、「大きくあおってフリーフォール」「シェイク」などの誘いかけた後に待つ。置き竿にも掛かった。「止めて待つ」ことを意識した。

### 【ヒット・アイテム】

- <胴付き> 自分:赤(浮きスツテ)、赤白(ケンサキSP)、青白(ケンサキSP)  
ツレ:赤(浮きスツテ)3杯、サバ色(シリコンスツテ)
- <イカメタル> 自分:鉛スツテ 赤白20号 ドロッパー:エギ2.5号赤緑、同 オレンジ  
ツレ:鉛スツテ 赤緑20号2杯:置き竿

### 【購入アイテム】

竿 ソルパラ 鉛スツテ 20号負荷 定価 9,000円+税(900円)

### 【次回に向けて】

- <胴付き仕掛け>
  - 胴付き仕掛けでは4本鉤にしたが、広く誘うことから5本鉤に戻すことにする。
  - 隣の人に尋ねたところ、「ケンサキSPがよく釣れる。5本鉤ならエギを2本入れる。」と言っていたことから、スツテは基本的にケンサキSPとする。
  - エギについては、豊漁丸のサイトに、アオリーQ1.8号がよく釣れるとあり、また、以前の日記から「アオリーQ1.8号はピンクの方がオレンジよりよく釣れた」とあったことから、エギはアオリーQ1.8号ピンクとする。
  - 浮きスツテの赤は実績がある。ケンサキSPに赤はない。
  - 以上のことから、  
上から 赤(浮きスツテ)、エギ(アオリーQ1.8号ピンク)、赤緑、青白、赤白  
(ケンサキSP)
- 上糸40cm、枝間1.2mの5本鉤、捨糸80cm  
道糸にリーダーが付いているので上糸は40cm。  
根掛かり対策に捨糸80cmは“下糸40cmと捨糸40cm”に分ける。  
幹糸5号、ハリス4号、捨糸4号